

2025/12/11

【主催】横浜市 【共催】神奈川県
【協力】損害保険ジャパン株式会社
【後援】(公財) 神奈川産業振興センター
(公財) 横浜企業経営支援財団

企業向けBCPセミナー

生成A I の活用と サイバー攻撃への備え

～生成AIの活用とリスク～

〔講師〕

テイクストーンズコンサルティング合同会社

業務デザイン・ラボ

千葉商科大学 商経学部

武石 ゆかり



自己紹介

～経営をITと人の心で結ぶ～

テイクストーンズコンサルティング合同会社 代表社員

～業務をデザインしてもっと楽にもっと楽しくもっと幸せに働こう～

業務デザイン・ラボ 代表

～100年いきる良識を。～

千葉商科大学 商経学部 特任講師

武石 ゆかり

中小企業診断士・ITコーディネータ

キャリアコンサルタント・産業カウンセラー



【キャリア】

(独)中小企業基盤整備機構にて26年間勤務後、2023年6月に経営コンサルタントとして独立

【専門】

デジタル化・DX・戦略・経営計画策定・人的資本経営(採用・定着・育成の仕組化)・生産性向上

【家族】夫と双子を含む3人の息子

【趣味】沖縄剛柔流空手(今年三段に挑戦中) + BTSの推し活 + HAF(ハード秋山ファン)活

【特技】高速超適当家事

- 1. 事業継続力強化計画の概要とメリット**
- 2. 生成AIとは**
- 3. 生成AI活用におけるリスク**
- 4. 取るべきリスク対策**
- 5. まとめ**

第1章

事業継続力強化計画 の概要とメリット

(視点)

- ・BCP・事業継続力強化計画とは？
- ・やると何がいの？

1. 事業継続力強化計画の概要とメリット



1-1.BCP・事業継続力強化計画（ジギョケイ）とは

重要業務を止め
ないで済む対策



事業の継続

万が一、業務が
止まっても早く
復旧する対策



従業員と家族の命・生活を守るために、顧客・取引先への供給責任を果たし、倒産リスクを下げるために前もって行う『経営の保険』的な計画の事

1. 事業継続力強化計画の概要とメリット



1-1. 事業継続力強化計画（ジギョケイ）とは

- ・ **中小企業強靱化法**に基づき、中小企業が策定した防災・減災などの**事前対策の計画**を経済産業大臣が「事業継続力強化計画」として認定する制度
- ・ 「中小企業向けの取り組みやすいBCP（**簡易版BCP**）」として整理されている
- ・ 地震・台風・水害などの自然災害・感染症・**サイバー攻撃**なども対象に拡大（2020年10月～）

デジタル活用に伴って起こりえる
リスクである『**サイバー攻撃対策**』
としても必須！



1. 事業継続力強化計画の概要とメリット



1-2. 事業継続力強化計画策定のメリット

- ① **税制優遇（防災・減災設備の優遇税制）** 対象設備への投資について、特別償却や税額控除などが適用される制度が利用可能
- ② **金融支援（低利融資・信用保証の優遇）** 日本政策金融公庫の低利融資（BCP資金）：設備資金の金利を基準金利から0.9%引き下げ など
- ③ **補助金の加点・優先採択** 一部の補助金で、認定企業であることが審査時の加点対象となり、採択されやすくなる
- ④ **信頼性・イメージ向上** 中小企業庁HPで認定企業として公表認定ロゴマークを名刺・Webなどに使用可能→ 取引先・金融機関・従業員・採用候補者へのアピールになる

取って損なし！成長を目指す企業には、得しかない！！

第2章

生成AIとは

(視点)

- ・生成AIって何？
- ・どんな事が出来るの？

2.生成AIとは



1-1.生成AIとは

- **生成AIとは、既存のデータからパターンや関係性を学習し、それに基づいて全く新しい、オリジナルのコンテンツ（テキスト、画像、音声、動画、コードなど）を生成する能力を持つ人工知能の一分野**



ChatGPT

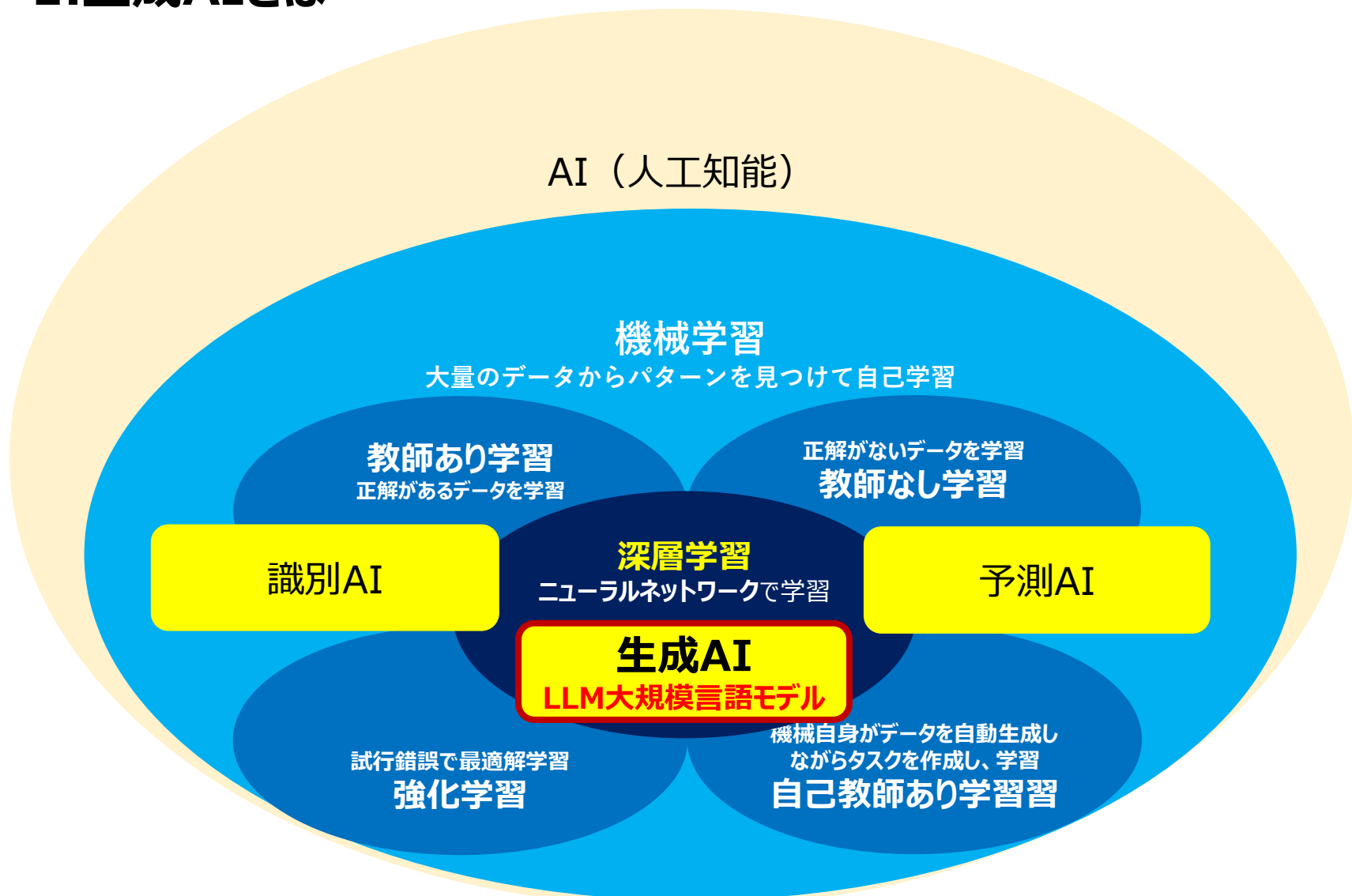


Microsoft Copilot

2.生成AIとは



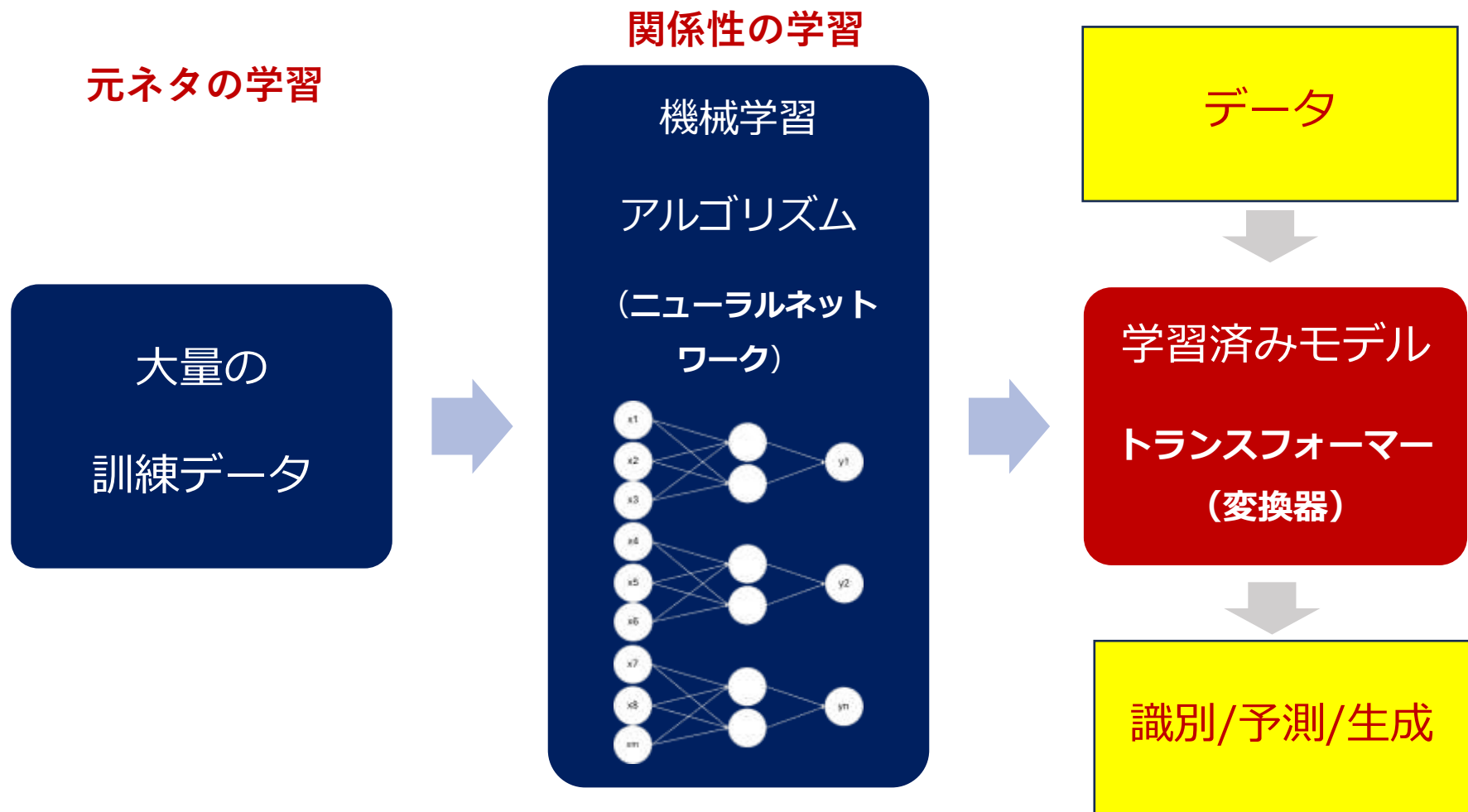
2-1.生成AIとは



2.生成AIとは



2-2.生成AIのしくみ

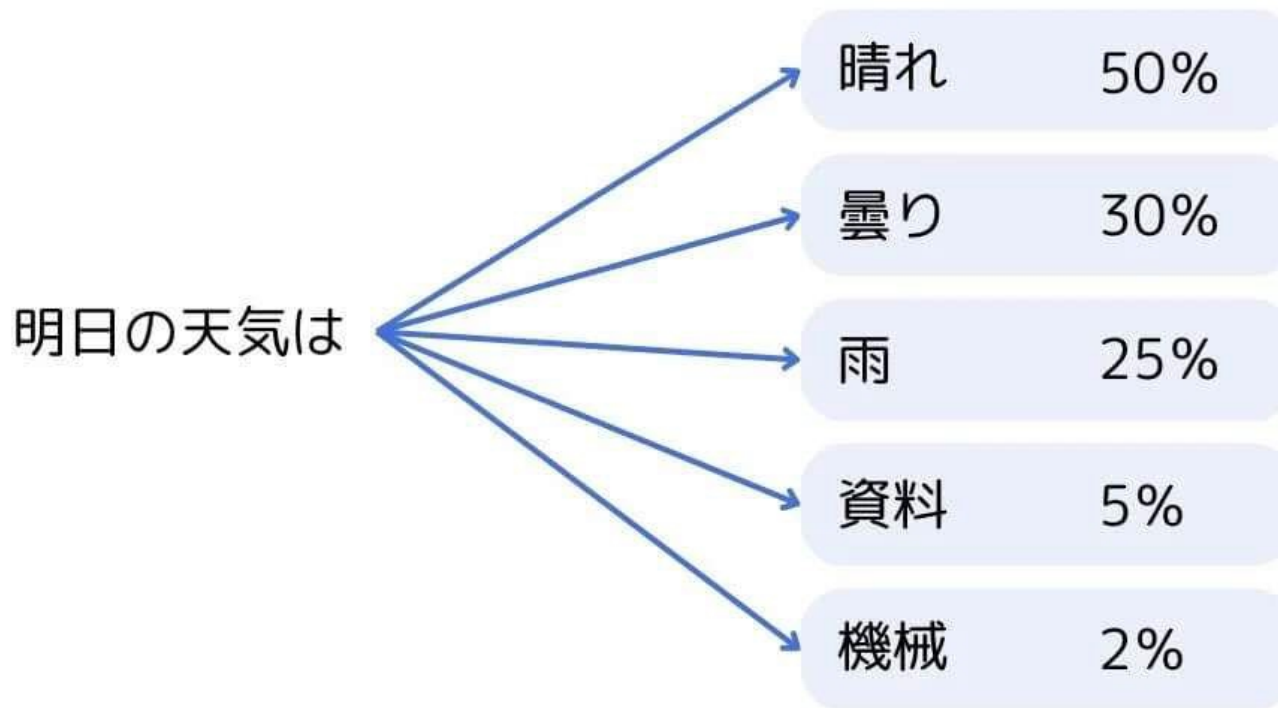


2.生成AIとは



2-2.生成AIのしくみ～大規模言語モデル（LLM）～

言語モデルのイメージ



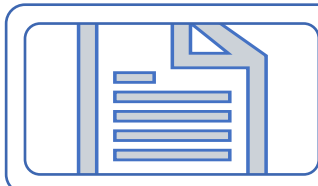
確率が高い単語を割り当てる

参照：<https://www.sedesign.co.jp/ai-blog/llm>

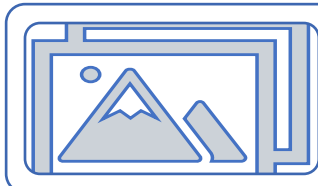
2.生成AIとは



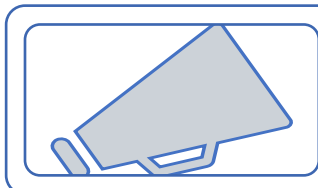
2-3.生成AIで出来る事



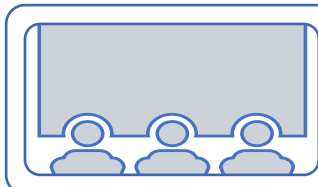
テキスト生成



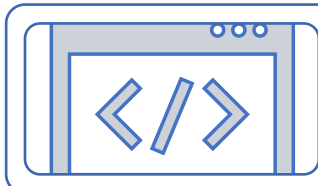
画像生成



音声生成



動画生成



コード生成

2.生成AIとは



2-3.生成AIで出来る事～汎用業務～

汎用業務	具体的な活用例	期待される効果
①指示内容のまとめ	上司、客先とのやり取りの録音、文字起こし、要約、TODOリスト作成、実行確認のアラート	指示されたことを忘れにくくなり、怒られなくなる→ストレス低減
②議事録作成・共有		議事録作成時間の短縮 会議決定内容の即時共有→疎外感の低減
③メール、報告書等の作成	入札資料や報告書等、提案書などのたたき台を作成する	調査資料収集・出典確認・資料作成時間の短縮 構造化によるわかりやすさの向上 図表・写真作成によるわかりやすさの向上
④新規アイデアの壁打ち・提案書の作成	市場調査や顧客ニーズの分析を踏まえた、新規アイデアの提案書の作成	顧客ニーズ等のデータ分析時間の短縮 24時間稼働できる壁打ち相手の存在による質の向上 提案書作成時間（図表、イラスト含む）の短縮
⑤調査	幅広い公開情報を集め、要約する	調査時間の短縮＋情報収集の質の向上 見る人の理解度に合わせた要約により、理解度向上・高速化
⑥翻訳	日本語のマニュアルや社内資料を多言語に翻訳し、社内の外国人材にも即時情報共有する	外国人材の言語の壁の低減→外国人材の疎外感の低減 翻訳作業時間の短縮
⑦業務マニュアルの作成	業務の要素と実行フローを分解し、図解を入れたわかりやすい業務マニュアルを多言語で作成する	業務フローの可視化によるわかりやすさの向上 シナリオ作成時間・マニュアル作成時間の短縮 撮影時間・動画編集時間の短縮
⑧動画マニュアルの作成	更に分かりやすい動画業務マニュアルを作成する	翻訳時間の短縮＋外国人材の疎外感の低減 データ化による情報共有範囲の拡大
⑨社内ルール（規程等）の自動応答をするチャットボットの作成	社内ルールをまとめた資料を学習させ、その社内ルール情報だけに基づいたQ&Aをチャットボットとして実装する	社内ルール資料を探す、調べる時間の短縮 社内ルール資料を読んで理解する時間の短縮 社員の質問に24時間回答出来る仕組みを保有することによる、社員満足度の向上
⑩生成AIへの指示文書（プロンプト）の相談・提案	生成AIで期待するような回答が出来ない時、どのような指示文書（プロンプト）を入れたらよいか相談して提案してもらう	生成AI活用レベルの向上 個々人の発想・創造力の向上や学習促進

2.生成AIとは



2-3.生成AIで出来る事～部門別業務～

区分	部門	具体的な活用例	期待される効果
フロント業務	マーケティング・広報	広告コピー・SNS投稿・ブログ記事作成支援	コンテンツ制作時間短縮、多様なパターンテスト
		自社製品のキャンペーンメール生成	顧客エンゲージメント向上
		市場トレンド・競合分析レポート作成補助	迅速な市場把握、戦略立案支援
		広告用画像・動画素材の生成	制作コスト・時間削減、クリエイティブ多様化
	営業	提案書・プレゼン資料の草稿作成	資料作成時間削減、提案の質向上
		顧客データ分析によるターゲティング顧客への効果的アプローチ方法のアイデア創出	営業効率向上、成約率向上
		営業メール・フォローアップ文面作成支援	コミュニケーション効率化
		顧客ヒアリング内容の要約・報告書作成	情報共有促進、報告業務効率化
	顧客対応	FAQ自動生成・チャットボットによる一次対応	問い合わせ対応工数削減、24時間対応
		問い合わせメール返信テンプレート生成	応答時間短縮、対応品質均一化
		顧客の声（VOC）分析によるサービス改善点抽出	顧客満足度向上
		通話内容の文字起こし・要約・分析	オペレーター支援、品質管理向上
バックオフィス業務	人事	求人票作成支援	採用担当者の業務負荷軽減
		履歴書・職務経歴書のスクリーニング補助	候補者選考の効率化
		社員向け研修資料・eラーニングコンテンツ作成支援	研修開発効率化
		社内規定に関する問い合わせ対応（チャットボット）	人事部門の問い合わせ対応工数削減
	経理・財務	請求書・領収書のデータ入力補助（OCR連携）	データ入力作業の効率化
		財務データ分析・レポート作成支援	経営状況把握の迅速化
		不正取引検知支援	リスク軽減
	法務	契約書ドラフト作成・レビュー支援	法務業務の効率化、リスク低減
		法令・判例リサーチ支援	調査時間短縮
		コンプライアンスチェック補助	コンプライアンス体制強化
	経営企画	経営戦略・事業計画作成支援	経営企画業務の効率化
		KPI、KGIの作成支援、進捗確認、分析支援	経営状況把握の迅速化
ミドル業務	開発（IT/エンジニアリング）	コード生成・補完・デバッグ支援	開発スピード向上、バグ削減
		技術ドキュメント作成支援	ドキュメント作成工数削減
		テストケース自動生成	テスト工程の効率化
	運用・オペレーション	システムログ分析による異常検知	システム安定稼働、障害予防
		運用レポート自動生成	報告業務効率化
		需要予測・在庫最適化支援（製造・小売）	在庫コスト削減、欠品・廃棄ロス削減
		品質管理・不良品検知支援（製造）	品質向上、検査コスト削減
	研究開発（R&D）	文献調査・要約	研究効率向上
		データ分析・仮説生成支援	新たな発見の促進
		シミュレーション・合成データ生成	実験コスト削減、モデル精度向上

2.生成AIとは



2-4.デジタル化全体の中でAIが出来る事

デジタルツールでの情報発信

①販促・情報提供

HP,SNS等

人間のやっている手作業を
システムやAIで代替

②作業の自動化

システム化

人の手作業をシステムにやらせる
(マクロ、RPA、会計ソフト、生産管理ソフト等)

AI識別

人の識別作業をAIにやらせる
(検査、議事録作成、要約、翻訳等)

AI実行

人の作業をAIにやらせる
(自動運転等)

今まで不可能だったレベルでの
意思決定のためのデータを準備
する

③意思決定の高度化

見える化

今まで見えなかった粒度での見える化
(データ作成)

予測

大量データの相関関係から確率や値を算出
(高度な分析)

最適化

制約下で最も成果が出る選択肢を発見
(最適解の発見)

(参考) 実務担当者のためのビジネスプロセスDX実装ガイドブック 上田剛著

2.生成AIとは



2-5.生成AIの概要まとめ

生成AIは、人間では不可能なレベルでの膨大なデータの学習と、複雑かつ進化する回答生成プロセスを持ち、新しいコンテンツの生成という形で、創造的活動に役立つもの

2.生成AIとは



2-6.生成AIを活用してみよう

1

質問・命令を入力

テキストボックスに質問や指示を日本語で入力します。

2

回答を受け取る

生成AIが文章を生成し、詳細な回答を提供します。

3

会話を続ける

対話形式で質問を重ねることができます。
前後の文脈を理解します。

第3章

生成AI活用におけるリスク

(視点)

- ・生成AIって便利だけど、どんなリスクがあるの？
- ・生成AIを活用するにあたって注意しておくべきことは？

3.生成AI活用におけるリスク



3-1.生成AIをなんのために使うのか？

効率化

考えの整理
構造化
ヒント発見
アイディ創造

→どちらにも活用可能。しかし、『機械』の事を全面的に信じ込んでいいの？
もし、それで事足りるなら、『人間』はいらない。
『人間』がすべきことをしないと、失敗や危険に繋がる可能性アリ

3-2.人間がすべきこと

判断
意思決定
責任ある活用

3.生成AI活用におけるリスク



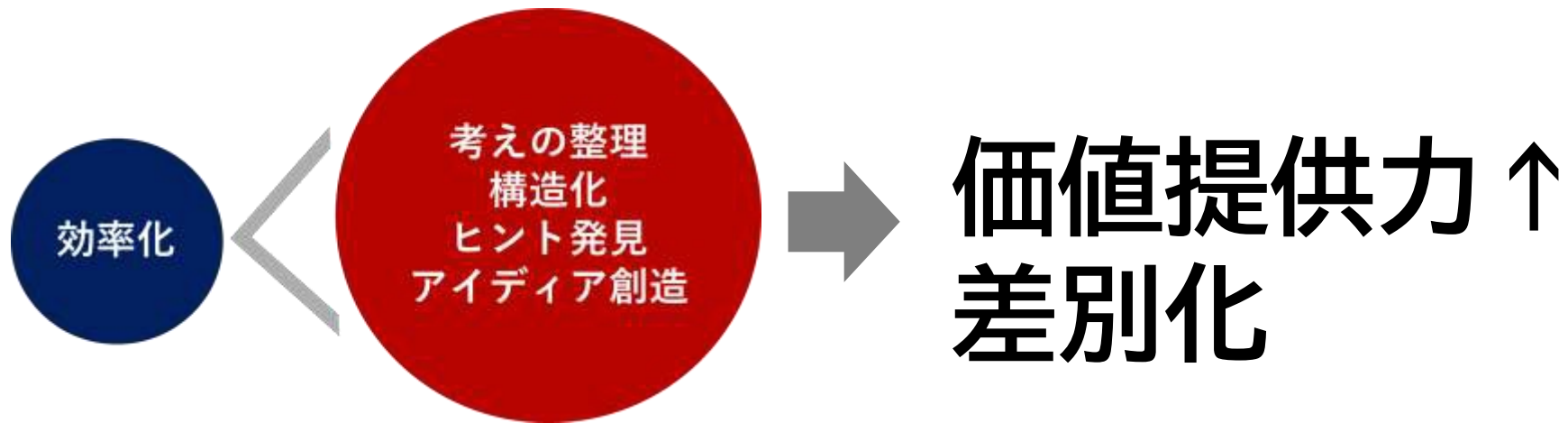
3-3.生成AI活用上の注意点 1

- ① **目先の『楽』に依存しない**
- ② **生成AIの活用目的を正しく理解する**
- ③ **目的と手段を混同しない**
- ④ **リスクを理解する**
- ⑤ **責任ある活用の仕方を理解する**

3.生成AI活用におけるリスク



3-4.生成AI活用の目的



出てきた予測に対する人の判断

正しい答えをもらうため（幻想）と誤解したまま生成AIを使うと、生成AIの本来の目的である『**創造**』をするための『**判断力**』が落ちる。これが最大のリスク！
他社も生成AIを活用する中で、競争力を維持するためには、どう使いこなすかが勝負の分かれ目で、そのためにも、原点となる『**目的の正しい理解**』が**最重要**！

『楽』の解釈

『楽』を選ぶか、『楽しい』を選ぶか？

同じ『楽』という漢字でも、『ラク』にするか『たのしい』にするかは、その人の価値観次第

『楽』を選ぶと、自分らしい価値を産めなくなり、受け身になる
適度な『楽』は大切だが、『楽』だけを求めると、人生に意味や意義を感じられなくなり、受け身の人生になる

『楽しい』を選ぶと、苦労や困難が避けられない
が、人生の意味ややりがいを感じられ、主体的な人生になる

さて、あなたは、どちらを選ぶ？

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク～責任ある活用のために～

- ①誤情報の生成（ハルシネーション）
- ②倫理観の問題（バイアスと偏見）
- ③著作権侵害
- ④情報漏洩
- ⑤依存（創造力・判断力の弱体化）
- ⑥運用不全

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク

①誤情報の生成（ハルシネーション）

生成AIは「予測」を創造して出すので、必ずしも「正しい答え」とは限らない

精度が上がっており、ハルシネーションのリスクはさがっているものの、確認をしないで出すのはもってのほか！ 所詮、予測！ **確認必須**

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク

②倫理観の問題（バイアスと偏見）

生成AIは意思や倫理観を持たない
学習済データから予測を創造して出すので、
学習したデータの中にある倫理的な問題が
クリアされていない事がある
人の判断が重要なので**確認必須**

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク

③著作権侵害

生成AIが出した回答の中に、他者の著作権を侵害するものが含まれる可能性がある
活用に当たっては、人が著作権侵害をしていないかを**確認必須**

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク

④情報漏洩

生成AIにデータを学習させるとき、外部に出してはいけない情報を入れてしまい、情報漏洩に繋がる場合がある

セキュリティを確保した生成AIを使うと共に社内ルール策定必須

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク

⑤依存（創造力・判断力の弱体化）

生成AIは業務効率化にも寄与するため、使い慣れるうちに「楽」になり、本来目的を忘れ、依存するようになる

依存すると、受け身になり、目的と手段をはき違えて創造力や判断力を弱体化させるので、**定期的な目的の確認と学習が必須**

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク

⑥運用不全

生成AIは、使い慣れるうちに「楽」になり、本来目的を忘れ、自分勝手に自由に使いたくなる

業務上の活用ルールや範囲を決めておかないと、ガバナンスが利かない状態に陥るため、**社内ルール策定と定期チェックが必須**

3.生成AI活用におけるリスク



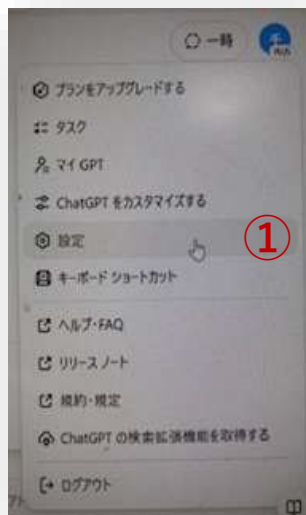
3-6.生成AI活用におけるリスクのまとめ～責任ある活用のために～

- ・嘘もつくし、正しい答えとは限らない内容が含まれるため、**原典確認と人による判断は必須**
- ・あくまで機械で人ではないし、魔法でもない
- ・情報漏洩リスク対策として
 - ①**セキュリティ確保**(有料版使用とオプトアウト機能OFF)
 - ②**社内活用ルール策定**
- ・無意識の依存に注意を払い、定期的に活用状況確認と学習機会を設ける

AIに学習されないためのオプトアウト機能

オプトアウト機能の設定

- ① 左下の自分の名前（またはメール） **をクリック表示されたメニューから設定（Settings） を選択
- ② データコントロール（Data Controls） をクリック
- ③ すべての人のためにモデルを改善する（Improve the model for everyone） をクリック
- ④ すべての人のためにモデルを改善する（Improve the model for everyone） という項目を **オフ** にして、実行ボタンをクリック



第4章

取るべきリスク対策

(視点)

- ・生成AIを業務で使用するためにやるべきリスク対策は？

4.取るべきリスク対策



4-1.リスク対策～責任ある活用のために～

リスク	対策例
①誤情報生成 (ハルシネーション)	クロスチェック、信頼情報源との照合、 人間による最終確認 、コンプライアンス教育
②倫理観の問題 (バイアス、偏見)	
③著作権侵害	商用利用可能なAIツールの選定、法務部門による事前確認
④情報漏洩	ガイドラインの整備、社内ルールの明文化、入力禁止情報リストの作成、学習利用停止設定、アクセス権限の細分化、基本的なデジタルセキュリティ対策
⑤依存 (創造力・判断力弱体化)	従業員教育の徹底、活用状況のモニタリング
⑥運用不全	CAIO(Chief AI Officer)の設置、推進体制の整備、セキュリティパトロールの実施

4.取るべきリスク対策



4-2.リスク対策の何から進めるか～最低限の責任を果たすために～

【応用】

②ガイドラインの策定と教育



【基礎・基本】

①デジタルセキュリティ対策

4.取るべきリスク対策



4-3.セキュリティ対策の基礎～まず自社診断から!!～

中小企業・小規模事業者の皆様へ

新 **5分** でできる!
情報セキュリティ自社診断

最新動向への対応、できていますか?

脅威や攻撃の変化



IT環境の変化



取り返しのつかないことになる前に
あなたの会社のセキュリティ状況を

「5分でできる! 自社診断」でチェック!



<https://www.ipa.go.jp/security/sme/f55m8k0000001waj-att/000055848.pdf>

診断編

診断項目	No.	診断内容	チェック			
			実施している	一部実施している	実施していない	不明
Part 1 基本的制度	1	パソコンやスマホなど情報機器の OS やソフトウェアは常に最新の状態にしていますか?	4	2	0	-1
	2	パソコンやスマホなどにはウイルス対策ソフトを導入し、ウイルス定義ファイル ^{※1} は最新の状態にしていますか?	4	2	0	-1
	3	パスワードは破られにくい「長く」「複雑な」パスワードを設定していますか?	4	2	0	-1
	4	重要情報 ^{※2} に対する適切なアクセス制限を行っていますか?	4	2	0	-1
	5	新たな脅威や攻撃の手口を知り対策を社内共有する仕組みはできていますか?	4	2	0	-1
Part 2 従業員としての対策	6	電子メールの添付ファイルや本文中の URL リンクを介したウイルス感染に気をつけていますか?	4	2	0	-1
	7	電子メールや FAX の宛先の送信ミスを防ぐ取り組みを実施していますか?	4	2	0	-1
	8	重要情報は電子メール本文に書くのではなく、添付するファイルに書いてパスワードなどで保護していますか?	4	2	0	-1
	9	無線 LAN を安全に使用するために適切な暗号化方式を設定するなどの対策をしていますか?	4	2	0	-1
	10	インターネットを介したウイルス感染やマルウェアの書き込みなどのトラブルへの対策をしていますか?	4	2	0	-1
	11	パソコンやサーバーのウイルス感染、故障や誤操作による重要情報の消失に備えてバックアップを取得していますか?	4	2	0	-1
	12	紛失や盗難を防止するため、重要情報が記載された書類や電子媒体は机の上に置かず、書庫などに安全に保管していますか?	4	2	0	-1
	13	重要情報が記載された書類や電子媒体を持ち出す時は、盗難や紛失の対策をしていますか?	4	2	0	-1
	14	離席時にパソコン画面の覗き見や勝手な操作ができないようにしていますか?	4	2	0	-1
	15	関係者以外の事務所への立ち入りを制限していますか?	4	2	0	-1
Part 3 組織としての対策	16	退社時にノートパソコンや備品を施設保管するなど盗難防止対策をしていますか?	4	2	0	-1
	17	事務所が無人になる時の鍵管理対策を実施していますか?	4	2	0	-1
	18	重要情報が記載された書類や重要なデータが保存された媒体を破壊する時は、復元できるようにしていますか?	4	2	0	-1
	19	従業員にセキュリティに関する教育や意識啓発を行っていますか?	4	2	0	-1
	20	従業員にセキュリティに関する教育や意識啓発を行っていますか?	4	2	0	-1
	21	個人所有の情報機器を業務で利用する場合のセキュリティ対策を明確にしていますか?	4	2	0	-1
	22	重要情報の授受を伴う取引先の契約書には、秘密保持条項を規定していますか?	4	2	0	-1
	23	クラウドサービスやウェブサイトの運用等で利用する外部サービスは、安全・信頼性を把握して選定していますか?	4	2	0	-1
	24	セキュリティ事故が発生した場合に備え、緊急時の体制整備や対応手順を作成するなど準備をしていますか?	4	2	0	-1
	25	情報セキュリティ対策（上記 1～24 など）をルール化し、従業員に明示していますか?	4	2	0	-1

※1 コンピュータウイルスを検出するためのデータベースファイル（ウイルス定義ファイル）とも呼ばれます。
※2 重要情報とは営業秘密など事業に必要で権限によって適切な情報や知識やノウハウ、従業員の個人情報など管理責任を伴う情報のことです。

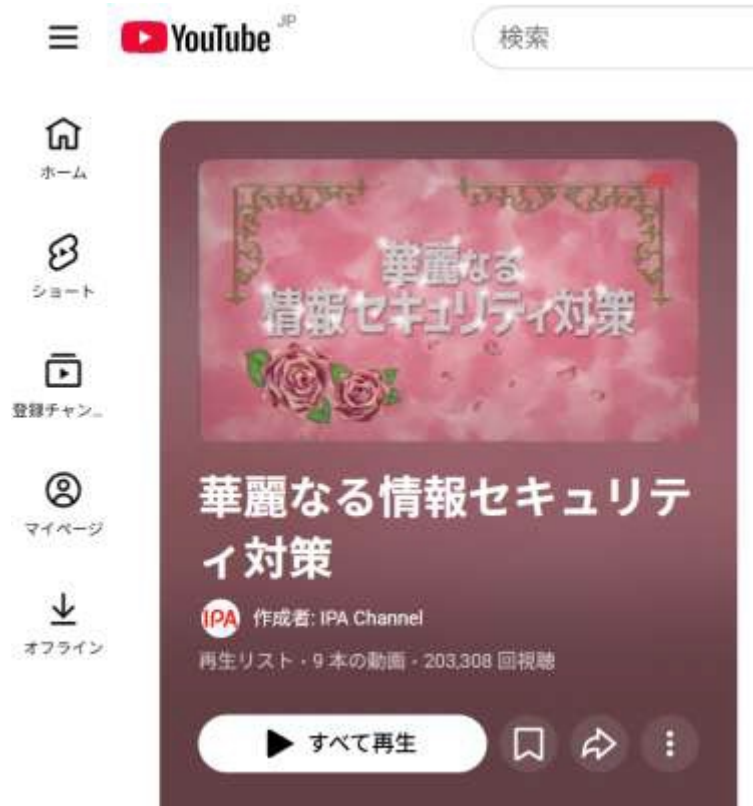
診断の後は次ページ以降を読んで対策を検討してください。

点
A+B+C
合計

4.取るべきリスク対策



4-4.セキュリティ対策の基礎～次は、社員への基礎教育～



- 1 華麗なる情報セキュリティ対策 #1 「修正プログラムの適用」
IPA Channel • 5.7万 回視聴 • 2 年前 1:46
- 2 華麗なる情報セキュリティ対策 #2 「セキュリティソフトの導入および定義ファイルの最新化」
IPA Channel • 3.7万 回視聴 • 2 年前 1:57
- 3 華麗なる情報セキュリティ対策 #3 「パスワードの適切な設定と管理」
IPA Channel • 4.8万 回視聴 • 2 年前 1:57
- 4 華麗なる情報セキュリティ対策 #4 「不審なメールに注意」
IPA Channel • 5.7万 回視聴 • 2 年前 1:51
- 5 華麗なる情報セキュリティ対策 #5 「USBメモリ等の取り扱いの注意」
IPA Channel • 4.3万 回視聴 • 2 年前 1:47
- 6 華麗なる情報セキュリティ対策 #6 「社内ネットワークへの機器接続ルールの遵守」
IPA Channel • 3.8万 回視聴 • 2 年前 1:59
- 7 華麗なる情報セキュリティ対策 #7 「ソフトウェアをインストールする際の注意」
IPA Channel • 3.4万 回視聴 • 2 年前 1:52
- 8 華麗なる情報セキュリティ対策 #8 「パソコン等の画面ロック機能の設定」
IPA Channel • 3.5万 回視聴 • 2 年前 1:55
- 9 華麗なる情報セキュリティ対策 統合版
IPA Channel • 5.3万 回視聴 • 2 年前 14:39

https://youtu.be/NowlVTka9eM?si=By4johtA3c_cF8vp

4.取るべきリスク対策



4-5.セキュリティ対策の応用～生成AIガイドラインを作る～

生成AIの利用ガイドライン

生成AIの活用を考える組織がスムーズに導入を行っていただけるように、利用ガイドラインのひな形を策定し、公開します。

このひな形を参考に、それぞれの組織内での活用目的等に照らして、適宜、必要な追加や修正を加えて使用ください。

※2023年5月に公開した第1版に改訂を加えた第1.1版を公開（2023年10月～）しています。

※『生成AIの利用ガイドライン』に関するご意見やご感想は[こちら](#)よりお寄せください。

※JDLA公式Youtubeチャンネルにて公開中の記者発表の模様は、2023年5月1日公開の第1版の内容に基づいています。現在公開中のバージョンとは異なりますのでご注意ください。



一般社団法人
日本ディープラーニング協会

<https://www.jdla.org/document/#ai-guideline>



生成AIの利用ガイドラインの作成にあたって

1 ファイル 14.71 KB

ダウンロード



生成AIの利用ガイドライン【条項のみ】(第1.1版, 2023年10月公開)

1 ファイル 24.14 KB

ダウンロード



生成AIの利用ガイドライン【簡易解説付】(第1.1版, 2023年10月公開)

1 ファイル 33.45 KB

ダウンロード



生成AIの利用ガイドライン（画像編）【条項のみ】(第1版, 2024年2月公開)

1 ファイル 26 KB

ダウンロード



生成AIの利用ガイドライン（画像編）【簡易解説付】(第1版, 2024年2月公開)

1 ファイル 35.2KB

ダウンロード

4.取るべきリスク対策



4-6.セキュリティ対策の応用～セキュリティリスクを確認する～

IPA 独立行政法人 情報処理推進機構

IPAについて お問い合わせ Eng

情報セキュリティ 試験情報

情報セキュリティ

情報セキュリティトップページ >

重要なセキュリティ情報 >	脆弱性対策情報 >	情報セキュリティ10大脅威 >
情報セキュリティ安心相談窓口 >	ビジネスメール詐欺（BEC）対策 >	Emotet（エモテット）関連情報 >
協定・地域との連携 >	サイバーレスキュー隊 J-CRAT（ジェイ・クラート） >	サイバー情報共有イニシアティブ J-CSIP（ジェイシップ） >
攻撃情報の調査・分析事業 >	中小企業の情報セキュリティ >	セキュリティエコノミクス >
制御システムのセキュリティ >	IoTのセキュリティ >	暗号技術 >
ITセキュリティ評価及び認証制度（JISEC） >	セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度（JC-STAR） >	IT製品の調達におけるセキュリティ要件リスト >
中小企業投資促進税制における認証製品リスト >	暗号モジュール試験及び認証制度（JCMVP） >	情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト >
情報セキュリティ教材・ツール >	映像で知る情報セキュリティ >	情報セキュリティ関連ガイド >
調査・研究報告書 >	届出 >	相談 >
ひろげよう情報セキュリティコンクール >	情報セキュリティに関するセミナー・イベント >	

<https://www.ipa.go.jp/>

第5章

まとめ

(視点)

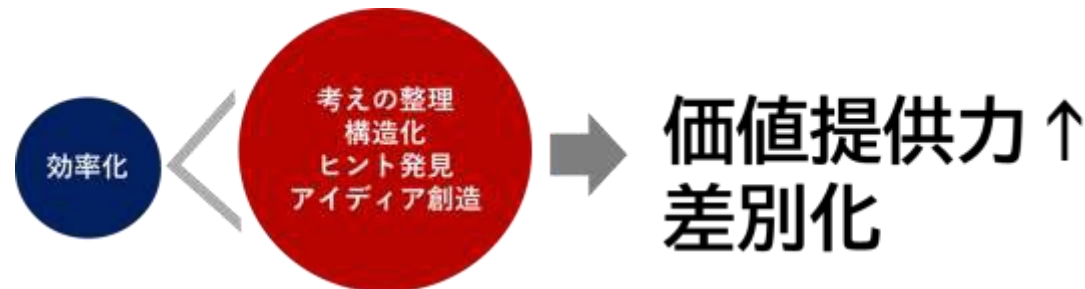
- ・生成AIをうまく活用していくために

5.まとめ～絶対に忘れてほしくない事～



目的

創造的活動



人の判断

注意点

- ① 目先の『楽』に依存しない
- ② 目的を理解する
- ③ **目的と手段を混同しない**
- ④ リスクを理解する
- ⑤ **責任ある活用**の仕方を理解する

リスク

- ① 誤情報の生成 (**ハルシネーション**)
- ② 倫理観の問題 (**バイアスと偏見**)
- ③ 著作権侵害
- ④ 情報漏洩
- ⑤ 依存 (**創造力・判断力の弱体化**)
- ⑥ 運用不全

5.まとめ～絶対に忘れてほしくない事～



注意点

- ① 目先の『楽』に依存しない
- ② 目的を理解する
- ③ 目的と手段を混同しない
- ④ リスクを理解する
- ⑤ 責任ある活用の仕方を理解する

リスク

有料版を使う！
オプトアウト機能をOffにする！

- ① 誤情報の生成（ハルシネーション）
- ② 倫理観の問題（バイアスと偏見）
- ③ 著作権侵害
- ④ 情報漏洩
- ⑤ 依存（創造力・判断力の弱体化）
- ⑥ 運用不全



定期的に診断する



定期的に学習する



ルール策定する
情報収集する・相談する

**これでセミナーは終わります
ご清聴ありがとうございました**

皆様の今後のご活躍を祈念いたします

テイクストーンズコンサルティング合同会社

業務デザイン・ラボ

武石 ゆかり

<https://takestones.com>

<https://business-design-lab.com>





企業を守るサイバー防犯対策

～押さえておきたいサイバーセキュリティの勘所～

神 奈 川 県 警 察
サイバーセキュリティ対策本部

[https://www. police .pref.kanagawa.jp/](https://www.police.pref.kanagawa.jp/)



神奈川県警のマスコット
ピーガルくん



サイバー空間の情勢概況

サイバー空間の「公共空間」化



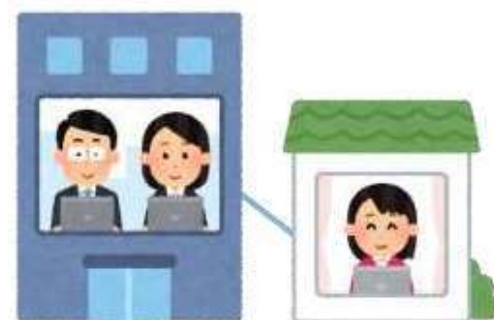
- コロナ禍において、社会のデジタル化が急激に進展し、あらゆる国民、企業等にとって、サイバー空間は「公共空間」として、より一層の重みを持つようになっている



みんなが



大切なことを



サイバー空間で

サイバー空間の脅威の情勢 極めて深刻



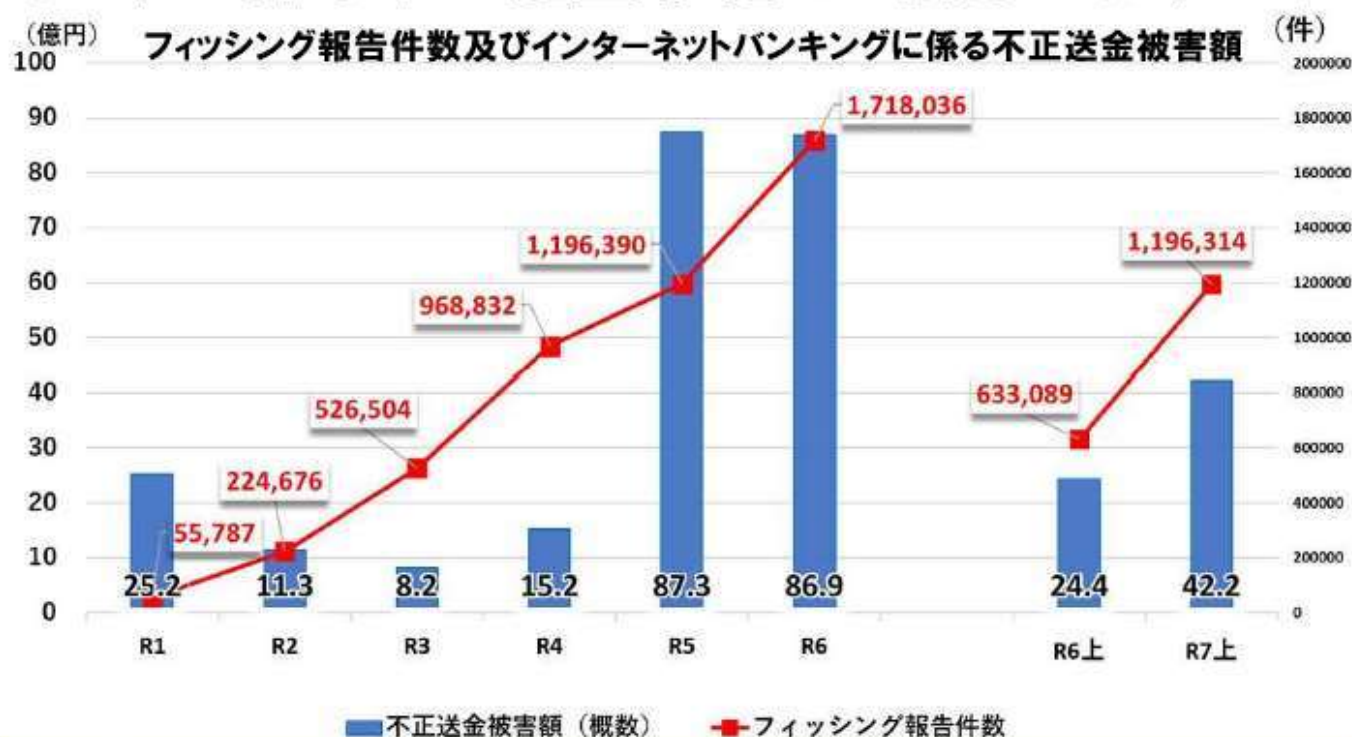
- ランサムウェア被害が依然として高水準で推移
- **VPN機器、リモートデスクトップ**を利用した感染を多数確認
- ランサムウェア感染により**市民生活にも重大な影響が発生**



サイバー空間の脅威の情勢 極めて深刻



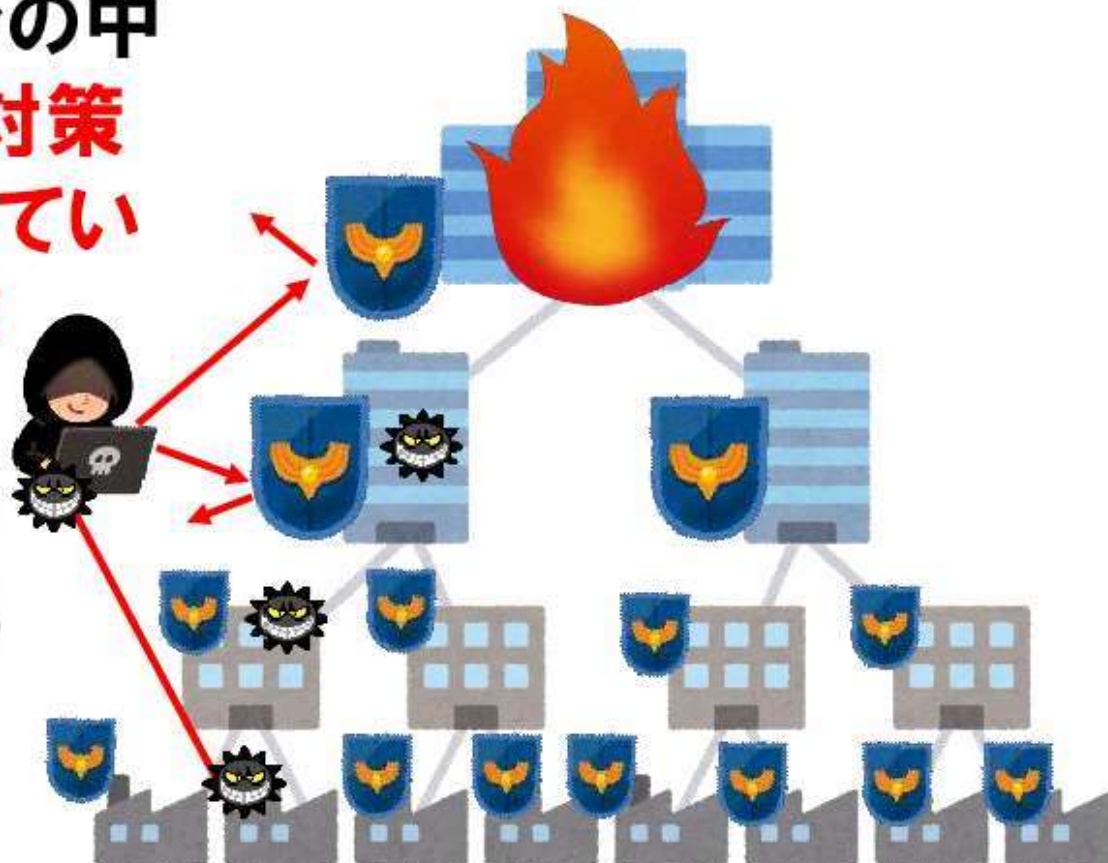
- フィッシング報告件数は右肩上がりの増加、インターネットバンキングに係る不正送金事犯の9割はフィッシング



サプライチェーン攻撃



- サプライチェーンの中で、**セキュリティ対策を適切に実施していない組織を攻撃**し、それを足がかりにターゲット企業に侵入する







ランサムウェアの情勢

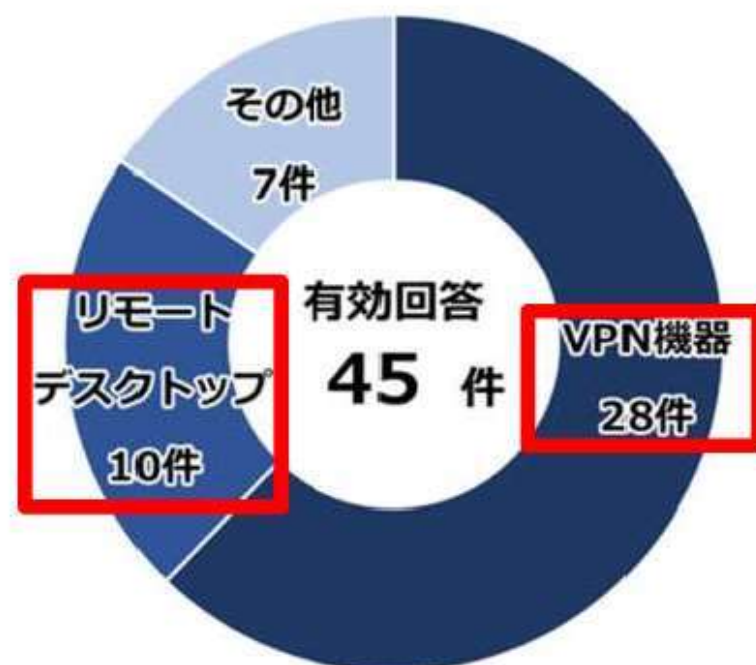
- ランサムウェアとは、**端末等に保存されているデータを暗号化**して使用できない状態にした上で、その**データを復号する対価として金銭を要求する不正プログラム**
- 暗号化のみならず、データを窃取した上で「**支払わなければデータを公開する**」などとして金銭を要求する**二重恐喝(ダブルエクストーション)**が多くみられる





ランサムウェアの情勢

- **VPN機器、リモートデスクトップ**を利用した感染を多数確認
- 被害企業・団体等の規模別では**中小企業が6割以上**



【ランサムウェアの感染経路】

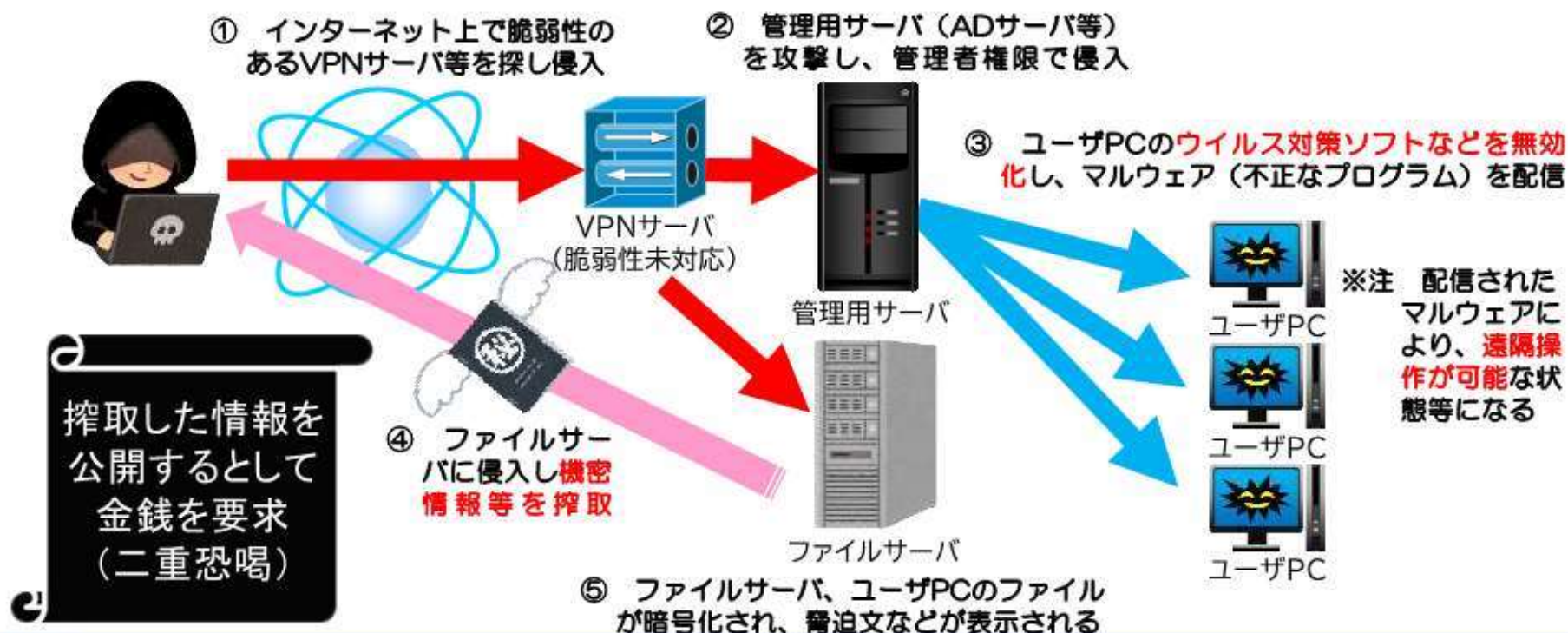


【被害企業・団体等の規模別件数】

人手によるランサムウェア攻撃 (human-operated ransomware attack)



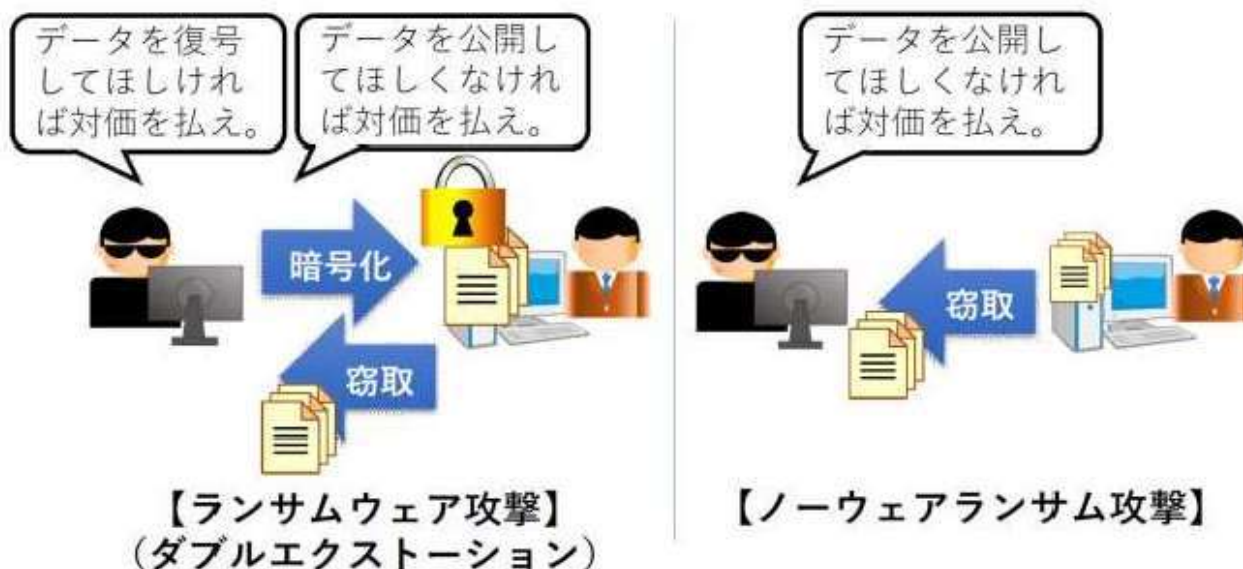
■ 標的型サイバー攻撃と同様、攻撃者が様々な攻撃手法を駆使して、企業・組織のネットワークへの侵入



ノーウェアランサムによる被害



- 国内において、データを暗号化することなく、データを窃取して、対価を要求する(「ノーウェアランサム」)による被害を確認

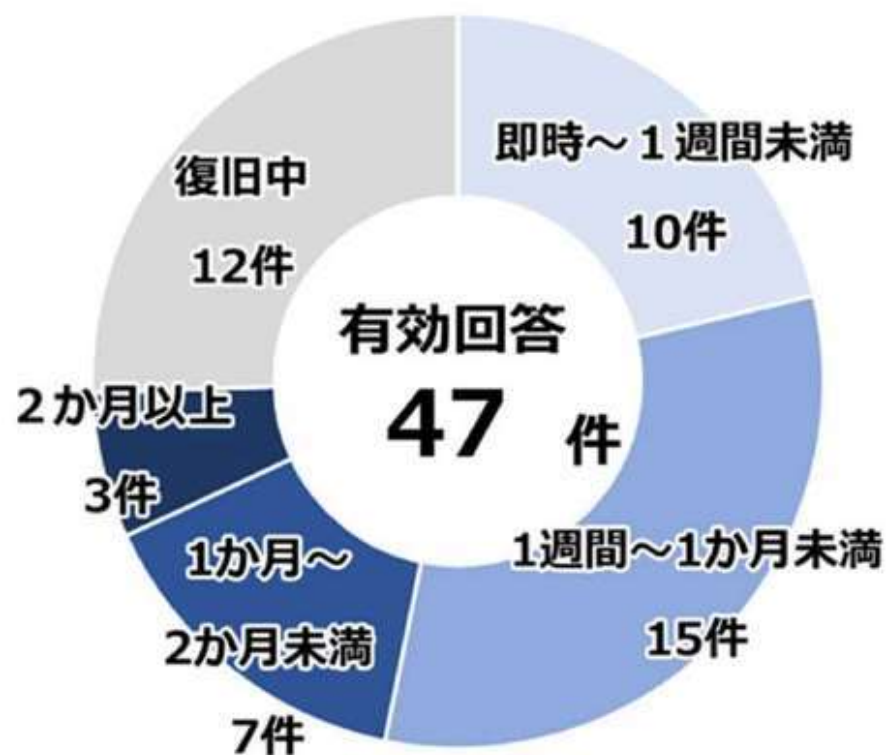


【参考】

ランサムウェアの被害に係る統計



■ 復旧等に要した期間／調査費用の総額



ランサムウェア対策



- 単純なウイルス対策ではなく、**標的型メール等のサイバー攻撃と同様な対策**が必要
 - メールに気を付ける(**開く前に確かメル**)
 - パソコン、サーバ、ネットワーク機器(VPN機器等)の**脆弱性対策、設定の見直し**
 - **利用者認証の強化**(多要素認証の導入等)
 - パソコンやサーバへのEDR(Endpoint Detection and Response)の導入、ネットワークの監視
- 完全には防げないので、**システムの定期的なバックアップは必須**です





フィッシング(Phishing)に注意!!

- 実在する企業等を装ったSMSやメールを送りつけ、受信者をフィッシングサイト(偽物のサイト)へ誘導してIDやパスワード等を入力させ、不正に個人情報等を搾取する手口



フィッシングメールの例



From：XYZ銀行
件名：【重要】取引停止の
お知らせ

本人かどうか確認が取れない取引がありましたので停止しました。
確認してください。
<http://xyz-bank.com>

取引の停止




From：XYZカード
件名：【緊急】不正アクセス
を検知しました

第三者からの不正なアクセスを検知しました。
確認してください。
<http://xyz-card.com>

不正アクセス



 050xxxxxxx

お荷物のお届けがありましたが、不在の為持ち帰りました。
<http://example.jp>

不在持ち帰り



銀行等を装ったメールやSMSから偽のウェブサイトに誘導し、金融情報や個人情報を不正に入手する手口、それがフィッシングです！



- 銀行口座を操作されて勝手に送金される
- ECサイトで勝手に買物をされる
- アカウントを乗っ取られる



フィッシング対策の勘どころ

■ 普段から使っているサイトやサービス提供会社、有名な企業等からのメールでも・・・

- ✓ メールやSMSに記載されたURLを安易にタップ(クリック)しない
- ✓ 送信元のメールアドレス等が普段と同じかどうか確認する
- ✓ メールの内容、書式、文章等に普段と違う、違和感がないか確認する

■ 日頃から習慣づけていただきたいこと

- ✓ サイトやサービスには、ブラウザのブックマーク等からアクセス、アプリがあればアプリを使う
- ✓ アプリがある場合には、パスワード設定やカード情報の入力はアプリから行う





ログインさせようとする
メール/SMSは**全部偽物**

※ 人物画像はBing Image Creatorを使用して作成



サイバーセキュリティ対策 の拠点

被害のきっかけは「偽～」



■ サイバー犯罪、サイバー攻撃で使われる手口では、「偽～」が使われています

- 取引先を装った偽メールを使う標的型メール攻撃により機密情報を搾取される
- 検索してたどり着いた偽ショッピングサイトで買い物をしてしまい詐欺の被害に遭う
- 宅配業者、通信事業者を装った偽SMSから不正アプリをインストールしてしまう
- フリマアプリ運営会社等を装った偽メールに誘導されてID・パスワードを取られる
- いろいろなサイトを見ていたら、突然、ウィルス感染したという偽警告がでる



など・・・

被害のきっかけは「偽～」



FACT?

FAKE?

FACT?

FAKE?

「本物」、「偽物」を見極める
「勘所」を押さえておきましょう！

偽サイト、偽メールに騙されない ための勘どころ



✓ メールアドレス、URLはおかしくないか？

- 送信元メールアドレス、URLは普段どおりか？

本物：～co**m**pany.co.jp ⇔ 偽物：～co**rn**pany.co.jp

- 見慣れないドメインを使ってないか？

「～.co.jp.～.xyz/～」などの紛らわしいものもある

スマホは画面が狭く、見づらいので特に注意！

✓ 違和感を感じるところがないか？

- 機械翻訳の様な**片言の日本語**がないか？
- **言い回し**や**書式**など**普段と違う**ところがないか？

キッカケはメール！！



- サイバー犯罪、サイバー攻撃の切っ掛けとなるのは**メール！！**
- 英文で添付ファイルが付いている**怪しいメール**ではなく、よくある**怪しくないメール**が危ない！
- 少しでも**違和感**があれば**確認する**、**周り(同僚、上司等)に相談、報告する**、**検索を試してみる**



メールに気を付けるという当たり前のことを徹底することで被害を防げることが多いことを知っておきましょう！！

そのメール
開く前に、まず
確かめる。



コンピュータ・ウイルスは
メールから感染することが多い
ことを知っていますか？



日頃からの情報収集

- 日々、巧妙化、複雑化するサイバー犯罪、サイバー攻撃に対応していくためには、日頃からの情報収集が不可欠
- 手口を知っているか知らないかが、被害に遭うか遭わないかの分かれ目
- 警察をはじめとしたサイバーセキュリティ関係機関のホームページやSNSなどで確認
- インターネットのニュースサイト等でも情報収集

SECURITY ACTION

セキュリティ対策自己宣言



- 「SECURITY ACTION」は、**中小企業自らが情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度**
- 「**中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン**」の**実践をベースとした2段階の取組目標**

ステップアップで二つ星！

一つ星でスタート！



セキュリティ対策自己宣言



セキュリティ対策自己宣言



SECURITY ACTION

セキュリティ対策自己宣言



★一つ星

「**情報セキュリティ
5か条**」に**取組こと
を宣言**



★★二つ星

「**5分でできる！情報セキュリティ
自社診断**」を**実施し**、「**情報セキュリ
ティ基本方針**」を**定め、公開したこ
とを宣言**



SECURITY ACTION

セキュリティ対策自己宣言



■「SECURITY ACTION」のメリット

- 情報セキュリティ対策への取組の見える化
ロゴマークをウェブサイトに掲出したり、名刺やパンフレットに印刷することで**自らの取組姿勢をアピール**
- 顧客や取引先との信頼関係の構築
既存顧客との**信頼関係強化**や新規顧客の**信頼獲得のきっかけ**
- 公的補助金・民間の支援を受けやすく
SECURITY ACTIONを要件とする補助金の申請、普及
セ賛同企業から提供される**様々な支援策**が利用可能

【参考】

セキュリティ対策評価制度(案)



「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」構成・内容イメージ

IPA

- サイバー攻撃により、取引上共有している機微情報の漏洩や部品・サービスの供給途絶など、自社のみならずサプライチェーン全体に影響を及ぼす事態が発生しうる。このようなインシデントの予防・抑制を目的に、サプライチェーン構成企業全体のセキュリティ対策レベルの向上と、実施状況の効率的な確認ができる手法として「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」を提案。
- 中小企業を含めた多様なサプライチェーン企業が参照できるよう、三段階のセキュリティレベルを想定。

	三つ星(★3)	四つ星(★4)	五つ星(★5)
段階の考え方 (企業がどういう状態にあるか)	現場レベルや部分的なレベルでのセキュリティ対策が実践されている	自社に合わせたセキュリティ対策の組織的・継続的な実施・改善(PDCA)がなされている	サイバー空間上のリスクを適宜適切に把握し、合理的な対策を実施、継続的改善がなされている
対象として想定する事業者	サプライチェーンを形成するすべての企業等	・産業界を代表・牽引する立場の企業等(それを目指す企業等を含む)のサプライチェーンにおいて重要な機能・役割等を担うサプライヤー企業	・産業界を代表・牽引する立場の企業等(それを目指す企業等を含む)のサプライチェーンにおいて特に重要な機能・役割等を担うサプライヤー企業等
対策セットの考え方 (対策の規模感)	上記に該当する企業等が、最低限実装すべきセキュリティ対策の水準 (15項目程度)	上記に該当する企業等が、標準的に目指すべきセキュリティ対策の水準 (～50項目程度)	上記に該当する企業等が、現時点で到達点として目指すべきセキュリティ対策の水準 (100項目～)
実施状況の評価・確認方法	・自己適合宣言(社内外の登録セキュリティ専門家による確認)	・自己適合宣言(★3と同様) ・第三者評価 と二段階に分けることも考えられる(★4、★4 plus)	・第三者評価

※既存のガイドラインや認証制度などを活用可能なスキームを検討※

サイバーセキュリティは

知識よりも意識



が大切です



「サイバーセキュリティは技術的に難しいからわからない」と思われがちですが、
当たりまえと思える対策等を確実に行うことで多くの被害は防げます。まずは
意識を高め、そのうえで技術的な知識も身に付けると万全です。

※ 背景画像はBing Image Creatorを使用して作成



サイバー警察局便り

Cyber Police Agency Letter 2025 Vol.6 (R7.9)

身近にサイバー攻撃の危険が迫っています！

『令和7年上半期サイバー空間をめぐる脅威情勢』を警察庁ウェブサイトにおいて公表しました。

<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/index.html>



ランサムウェア被害が半期として過去最多



〔情勢〕

中小企業の被害も半期で77件と過去最多

〔対策〕

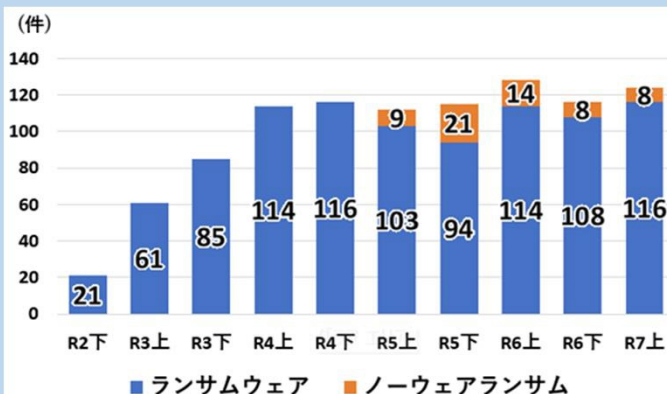
- ・VPN機器等のぜい弱性対策
- ・認証情報の適切な管理
- ・バックアップやログの適切な取得
- ・サイバー攻撃を想定した業務継続計画（BCP）の策定



←対策をもっと知りたい方はこちら

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/countermeasures/ransom.html>

ランサムウェア被害の報告件数



※ノーウェアランサム：暗号化せずデータを窃取して対価を要求する手口(R5上から集計)



証券口座への不正アクセスが急増



〔情勢〕

証券会社をかたるフィッシングが増加
証券口座への不正アクセス・不正取引が増加

〔対策〕

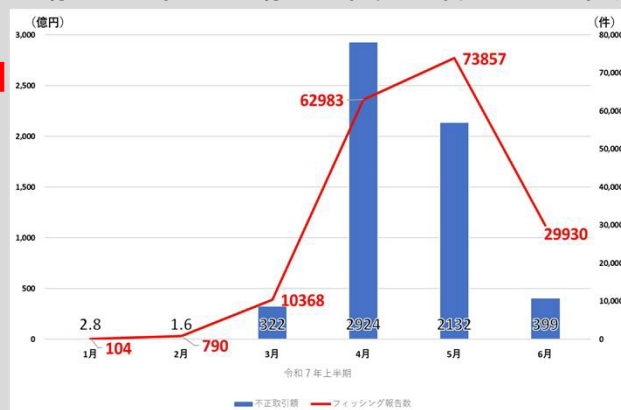
- ・ブックマークや正規アプリを活用
- ・多要素認証（ワンタイムパスワード）や生体認証の活用・通知サービスなどを導入
- ・こまめに口座残高やログイン履歴を確認



←対策をもっと知りたい方はこちら

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/countermeasures/basic.html>

証券口座不正取引額と証券口座に関するフィッシング報告件数



※不正取引額は金融庁資料・フィッシング報告件数はフィッシング対策協議会資料より

被害に遭ってしまったら警察に通報・相談してください

最寄りの警察署又はサイバー犯罪相談窓口 ➡ <https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html>

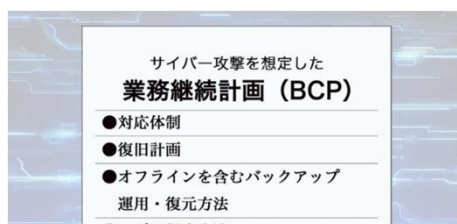


警察庁
National Police Agency

中小企業で被害多数 ランサムウェア

サイバー攻撃のリスクを考慮した管理体制の構築を！

- ➡ 中小企業のランサムウェア被害は前年比で約4割の増加
- ➡ 被害未然防止の要は基本的対策の継続
 - ・ V P N機器等の**ソフトウェア更新**
 - ・ **パスワードの強度確保** 等
- ➡ 被害拡大防止のために必要な備え
 - ・ サイバー攻撃を想定した**B C P**の策定
 - ・ オフラインを含む**バックアップ**の取得
 - ・ 被害調査に必要不可欠な**ログ**の取得
- ➡ 被害発生時は**警察へ通報・相談**を

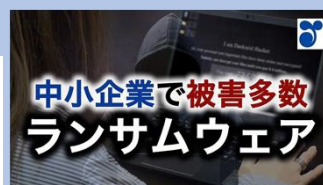


※政府広報オンライン「中小企業で被害多数 ランサムウェア」より

✓ 詳しくは、政府広報オンライン動画
「中小企業で被害多数 ランサムウェア」

<https://www.gov-online.go.jp/useful/202506/video-298784.html>

警察庁制作協力



動画「ランサムウェア対策の基本」

<https://www.gov-online.go.jp/vertical/online/video-478.html>

記事「ランサムウェア、あなたの会社も標的に?被害を防ぐためにやるべきこと」

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202210/2.html>

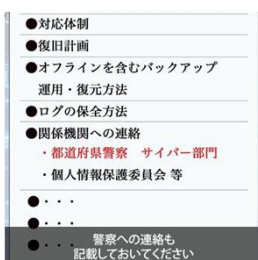


政府広報

SNSでも関連動画を公開中



X



Instagram



神奈川県警察サイバーセキュリティ対策本部



警察庁
National Police Agency

騙されないで！こんなトラブルに注意！



例えばこんなこと、、、ありませんか？

！＜サポート詐欺＞

パソコンでサイト閲覧中、突然大音量で警告音が鳴りウイルス感染の警告画面が出た。焦って画面に表示された番号に電話すると、サポート費用を支払うよう言われた。



！＜フィッシング＞

ネット銀行から「不正アクセス」、「個人情報の確認」、「取引の停止」などというメールが来たため不安に思い、メール本文に記載されたURLを押してID・PWを入力しようとした。

From: XYZ銀行
件名: 【重要】取引停止のお知らせ

本人かどうか確認が取れない取引がありましたので停止しました。確認してください。

<http://bank.example.com>

偽

！＜偽情報＞

災害発生に関連して二次元コードを添付して寄付金を求める投稿や、義援金や支援物資を募るメールやSMSを本物と信じ込み送金しそうになった。



避難しています。今後のための資金を寄付してください。



qr.pay

だまされている可能性「大」→まずは相談を！！

悩んだらまずは落ち着いて、身近な人に相談してみましよう。以下の相談窓口もありますのでご活用ください。

最寄りの警察署又はサイバー犯罪相談窓口

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html>



消費者ホットライン

☎188（全国共通）

IPA情報セキュリティ安心相談窓口

☎03-5978-7509



独立行政法人

国民生活センター

IPA

独立行政法人

情報処理推進機構



警察庁
National Police Agency

神奈川県警察サイバーセキュリティ対策本部

そのメール、フィッシングかも！


こんなメールやSMSに要注意！

From：XYZ銀行
件名：【重要】取引停止のお知らせ

本人かどうか確認が取れない取引がありましたので停止しました。
確認してください。
<http://xyz-bank.com>

From：XYZカード
件名：【緊急】不正アクセスを検知しました

第三者からの不正なアクセスを検知しました。
確認してください。
<http://xyz-card.com>

 050xxxxxxx

お荷物のお届けがありましたが、不在の為持ち帰りました。
<http://xxx.com>

取引の停止



不正アクセス



不在持ち帰り



メールやSMSによるフィッシング被害が発生中！！

フィッシングに騙されるとどうなるの？

銀行等を装ったメールやSMSから偽のウェブサイトに誘導し、**金融情報や個人情報**を不正に入手する手口、それが**フィッシング**です！



- 銀行口座を操作されて勝手に送金される
- ECサイトで勝手に買物をされる
- アカウントを乗っ取られる

フィッシングに対してできること



- メールやSMSに記載されたリンクをクリックしない
→ 内容の確認は、公式サイトやアプリを利用する
- 携帯電話会社等の迷惑メッセージブロック機能を活用する
- 生体認証を活用する（パスワードを利用しない。）

※詳細なフィッシング対策はこちら⇒ <https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/countermeasures/phishing.html>



神奈川県警察サイバーセキュリティ対策本部



警察庁
National Police Agency



WARNING



フィッシング詐欺に気を付けて！

- 証券会社を騙るフィッシング詐欺の被害が多くなっています！
- 【緊急】【重大】焦らせるメールは**特に注意してください！！**
- 詳しくは神奈川県警察ホームページをご覧ください。 [HPはこちら](#)



神奈川県警察サイバーセキュリティ対策本部

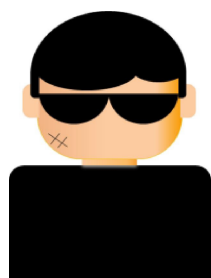
今、企業の資産（法人口座）がねらわれている！！

電話に注意！「ボイスフィッシング」による不正送金被害が急増

【手口の概要】

1. 犯人が銀行担当者を騙り、被害者（企業）に電話をかけ（自動音声の場合あり）、メールアドレスを聞き出す。
2. 犯人がフィッシングメールを送信し、電話で指示しながら、被害者をフィッシングサイトに誘導。そして、インターネットバンキングのアカウント情報等を入力させて、盗み取る。
3. フィッシングサイトに入力させたアカウント情報等を使って、犯人が法人口座から資産を不正に送金する。

※架電イメージ

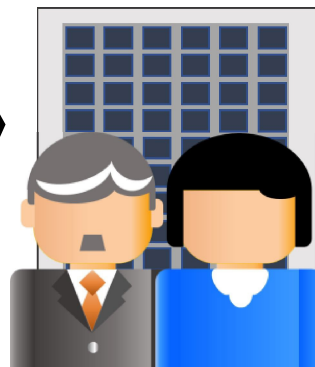


犯人



〇〇銀行です。
ネットバンクの電子証明書の
更新手続きが必要です。
更新用のリンクを送りますの
でメールアドレスを教えてください。

電話



被害者(企業)

ボイスフィッシング被害に遭わないために！3つの対策

◆ 知らない電話番号からの着信は信用しない！

◆ 銀行の代表電話番号・問い合わせ窓口で確認する！！

銀行担当者を騙る者から連絡があった場合には、銀行の代表電話番号へ連絡して確認するなど、慎重に対応してください。

◆ メールに記載されているリンクからアクセスしない！！

インターネットバンキングにログインする場合は、銀行公式サイトや公式アプリからアクセスしてください。

もしも、被害に遭ってしまったら警察に通報・相談を！

最寄りの警察署又はサイバー犯罪相談窓口 ➡ <https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html>



神奈川県警察サイバーセキュリティ対策本部



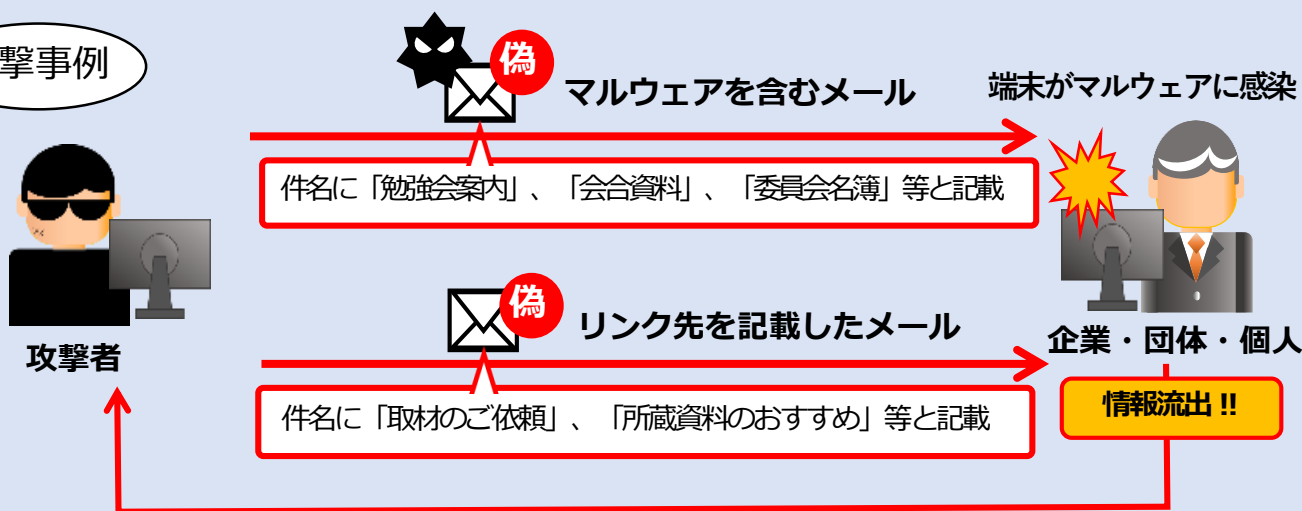
警察庁
National Police Agency

関係者からのメール？それ本当？

もしかしたら、標的型メール攻撃かも？

日本国内の学術、シンクタンク、政治家、マスコミに関係する個人や組織に対して、安全保障や先端技術に係る情報窃取を目的とした組織的なサイバー攻撃が行われています。

攻撃事例



被害に遭わないためには？

- 1 交流相手からのメールであっても普段と異なる状況がないか注意する
- 2 違和感があれば添付ファイルの開封やリンクをクリックしない
- 3 不審に感じたら送信者に確認する

MirrorFaceによるサイバー攻撃について（注意喚起）

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/koho/caution/caution20250108.html>



神奈川県警察
サイバーセキュリティ対策本部



警察庁
National Police Agency

～BCP(事業継続計画)作成等支援専門家派遣事業～

大規模災害や感染症危機への備えは十分ですか？

専門家がBCP策定を お手伝いします

近年災害や感染症など不測の事態に対応し、事業を継続、発展につなげることができる事業継続力がますます求められています。
県内中小企業の事業継続への取組みを支援するため、BCP作成等支援専門家派遣事業を実施しています。

みなさまのご利用をお待ちしております！

費用

無料

対象者

県内に事業所を有する
中小企業者及び中小企業団体等

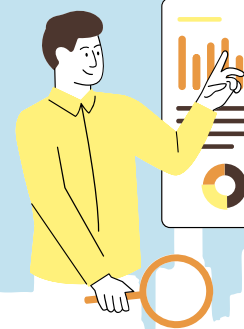
回数

3回以内

※リスクファイナンス
判断シートを活用する
場合は4回以内まで

下記についてご対応します。

- ✓BCPや事業継続力強化計画の策定
- ✓企業の災害リスクの把握等に必要な
アドバイス、助言



お申込みはホームページをご確認ください！

検索はこちらから

お問い合わせ

公益財団法人神奈川産業振興センター 経営総合相談課

神奈川県横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル4階

☎ 045-633-5200

✉ soudan@kipc.or.jp

FAX 045-633-5194

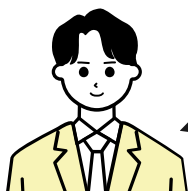
経営の？にお応えします！

ワンストップ 経営相談窓口

相談料
無料

何度でも
利用可

事前
予約制



こんなお悩みありませんか？

創業

- 創業の手続きを教えてください
- 創業融資について知りたい
- 創業計画の作り方がわからない

事業承継

- 後継者の育成について知りたい
- 事業承継に取り組む前に、何から始めていけばよいのかわからない

経営改善

- 売上の減少を食い止めたい
- 資金繰りを改善したい
- 販路の見直しをしたい

経営革新

- 新しい商品・サービスを展開したい
- 活用できる補助金・助成金を知りたい
- 新事業を検討したい

経験豊富な相談員が対応します！

利用できる方

1. 横浜市内に事業所がある中小企業者、個人事業者の方
2. 横浜市内で法人、個人事業主として創業予定の方

公益財団法人横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)



ご予約はこちら→

WEB : <https://www.idec.or.jp/>

ご予約はこちらから



ワンストップ経営相談窓口とは

横浜市内の中小企業者等の皆様が抱える様々な課題や、創業・新規事業に関する疑問などについて、総合的に応える相談窓口です。

経営全般に関する相談だけでなく、創業に関する相談やビジネスプラン作成のほか、税務、法律、知財、IT関連、国際ビジネスなど幅広い分野について、中小企業診断士、税理士、社会保険労務士、弁護士、弁理士などの専門家と財団の職員が、無料で相談・助言を行っています。

経営

IT

税務

労務

法律

事業
承継

知財

相談時間（スケジュール）

平日（月～金のみ、祝日・年末年始除く）

① 9:30～10:30

② 11:00～12:00

③ 14:00～15:00

④ 15:30～16:30

	月	火	水	木	金
経営相談	●	●	●	●	●
IT活用相談		●			
事業承継相談				●	
税務相談			●		
労務相談			第2・4水曜		
知財相談※1	第2月曜				
法律相談※2		●			

※ 1：45分/回

① 13:30～ ② 14:30～ ③ 15:30～

※ 2：対面のみ、30分/回

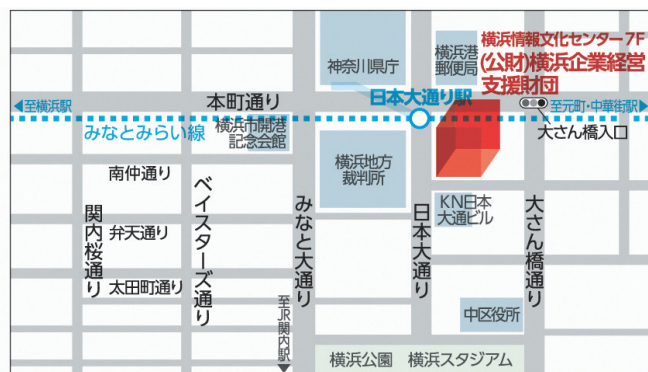
① 13:30～ ② 14:00～ ③ 14:40～ ④ 15:10～ ⑤ 15:50～

相談場所

横浜市中区日本大通11番地 横浜情報文化センター7階

※ご自宅等からのWEB面談もご利用可能です。

<MAP>



予約方法

【WEB】お申込みフォームから希望日を選んでご予約ください。

- 相談員の指名は、必ず「相談員プロフィール」から出勤日をご確認ください。
- 幅広く窓口をご利用いただくため、1日のご相談は1枠とさせていただきます。
- 経営相談のご予約は翌月まで可能です。

お申込みフォーム



IDEC
YOKOHAMA

【お問合せ先】

公益財団法人横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)
経営支援部 経営支援課

TEL： 045-225-3711

メール： keiei@idec.or.jp

人手がなく
相談窓口に行く
時間がない

どこから手をつけてよいのか
分からない

公的支援メニューを
詳しく知りたい

会社の現状を
実際に診てほしい

そんなお困りごとに
お応えします！

どんな補助金が
使えるか知りたい

新たな顧客を
つかみたい

社員の採用・育成が
うまく行かない

事業承継の
課題を相談したい

『御社に
伺います！』



『4回まで
無料です！』



経験豊富な専門家が
課題解決をサポートします

公益財団法人横浜企業経営支援財団(IDECC横浜)

IDECC
YOKOHAMA

WEB: <https://www.idecc.or.jp/>

TEL: 045-225-3714

メール: keiei@idecc.or.jp

【お申込みはこちら】



エキスパート面談

IDEC横浜に登録している「横浜ビジネスエキスパート」が、貴社の専門的な課題の相談に応じるとともに、適切なアドバイスを行います。経営戦略、販路開拓、IT活用、税務・会計、法務、労務、知的財産等さまざまな企業の経営課題にご利用できます。

経営戦略

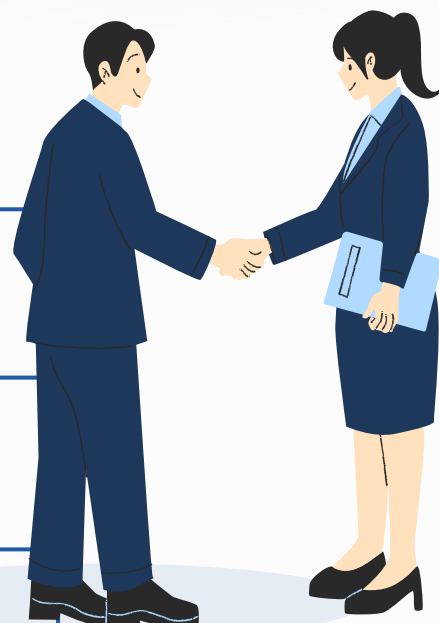
販路開拓

IT活用

事業承継

BCP計画策定

ご利用いただける方	1. 横浜市内に主たる事業所がある中小企業および個人事業者 2. 横浜市内にて法人・個人事業者として創業予定の方
時間	平日（月曜日から金曜日）9:00～17:00 ※休祝日除く / 1回あたり2時間程度
相談場所	原則として事業者の事業所又は財団本部内
利用回数	1社あたり年度内10回まで利用可能
料金	1社あたり年度内4回まで無料（※適用除外あり） 5回目以降有料（1回あたり12,520円（税込み）） 【適用除外】 以下に該当する方は、申込時にお申し出いただいた場合に限り、1社あたり年度内7回まで無料でご利用できます。 詳細は、IDEC横浜までお問い合わせください。 (1) 横浜型地域貢献企業（認定済企業） (2) 横浜知財みらい企業（認定済企業） (3) 財団インキュベーション施設入居者 (4) BCP（事業継続計画）の策定・運用を検討している事業者 (5) 経営状況悪化のため資金繰り対策を必要とする事業者 (6) 横浜市販路開拓支援事業の対象事業者
キャンセル期日	ご相談日の前日（財団休業日を除く）正午まで ご利用者様の都合によりキャンセルされる場合は、上記期日までにIDEC横浜へご連絡ください。 期日以降のキャンセルは、1回ご利用されたものとみなします。 また、お支払済みのご利用料金は、キャンセルした日に関係なくご返金できかねますのでご了承ください。



お問合せ

（公財）横浜企業経営支援財団
（IDEC横浜）
経営支援部 経営支援課
TEL：045-225-3714
メール：keiei@idec.or.jp

IDEC
YOKOHAMA

お申込み
はこちら



右のQRコードからお申し込みください。

※お電話の場合はこちら→TEL：045-225-3714

※横浜ビジネスエキスパートは、原則、相談内容に応じて財団職員が選定します。

※申込時に利用規約への同意が必要です。



※QRコードは謝辞デンソーウェブの登録商標です。

事業継続力強化計画 計画策定→認定のメリット

横浜市中小企業融資制度「**経営支援資金**」をご利用いただけます！



ポイント

- ・ 固定金利2.1%以内
- ・ 融資額2.8億円まで
- ・ 信用保証料最大0.6%助成



詳細はこちら▲

【お問合せ】

経済局中小企業振興部金融課

電話：045-671-2592

メールアドレス：ke-kinyu@city.yokohama.lg.jp

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

令和 7 年度 横浜市中小企業融資
経営支援資金



融資額
2.8 億円まで

信用保証料
最大 0.6%助成

事業転換・
多角化も対応

日産自動車株式会社と、直接または間接的に取引があり、「通常の運転資金や設備資金が必要」や「事業転換・多角化や販路開拓を考えている」市内の中小・小規模事業者がご利用いただけます。

融 資 対 象 者	次のいずれかに該当する事業者 1 経営行動計画を策定し、売上高・粗利率・売上高営業利益率のいずれかが 5 %以上減少している 2 セーフティネット保証 5 号の認定を受けた 3 セーフティネット保証 4 号の認定を受けた 4 危機関連保証の認定を受けた 5 事業継続力強化計画を国に提出し、認定を受けた 6 取扱金融機関及び認定経営革新等支援機関等の支援を受けつつ、自ら事業計画の策定、計画の実行及び進捗の報告を行う 7 米国の関税措置の影響を受け、売上高・粗利率・売上高営業利益率のいずれかが 5 %以上減少している 8 日産自動車株式会社の経営再建策の影響を受ける
資 金 使 途	運転資金及び設備資金
融 資 額	2 億 8,000 万円以内（組合 4 億 8,000 万円）
利 率	固定金利 年 2.1%以内
融 資 期 間	融資対象者 1 ～ 4、7、8：運転資金 10 年以内、設備資金 10 年以内 融資対象者 5：運転資金 5 年以内、設備資金 7 年以内 融資対象者 6：運転資金 15 年以内、設備資金 15 年以内
据 置 期 間	融資対象者 1 ～ 5、7、8：12 か月以内 融資対象者 6：36 か月以内
信用保証料 助 成 内 容	運転資金：0.5%助成（融資額 8 千万円を上限） 設備資金：0.1%助成（融資額 2 千万円を上限） 【宣言割※】上記に加え、各融資額上限まで 0.1%助成 ※横浜市の「脱炭素取組宣言」を行った方が適用できます。
上記助成後の 保 証 料 率	運転資金：0.00%～1.40% 設備資金：0.25%～1.80%
必 要 書 類	融資対象者 1：経営行動計画書 売上高減少要件確認書、売上高総利益率減少要件確認書、 又は売上高営業利益率減少要件確認書 融資対象者 2 ～ 4：各認定書 融資対象者 5：認定申請書、認定を受けた事業継続力強化計画 融資対象者 6：事業再生計画書 融資対象者 7：売上高減少要件確認書、売上高総利益率減少要件確認書、 又は売上高営業利益率減少要件確認書 融資対象者 8：要件確認書 【宣言割を適用する場合】 「脱炭素取組宣言 確認書」又は「脱炭素取組宣言 宣言書」の写し



※ご利用にあたっては取扱金融機関及び横浜市信用保証協会の審査があります。審査の結果、ご希望に添えない場合があります。

お問合せ先 横浜市経済局金融課 ☎045-671-2592

111 CO₂
YOKOHAMA

脱炭素化とは ...

気候変動の原因となっている
二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を
実質ゼロにしていくことです。

脱炭素化の取組は、
環境への負荷を減らすことはもちろん、

- 光熱水費などのコスト削減
- 企業価値の向上による
取引先拡大、人材確保

など、経営改善につながります。

脱炭素取組宣言

市内事業者の皆様へ

しませんか。

市内の事業者の皆様が 「すぐに」宣言できます！

※所要時間 3～5 分程度

横浜市 脱炭素取組宣言



脱炭素取組宣言
ウェブサイト



*「宣言書」や「ロゴマーク」が使用可能！

* 脱炭素関連の補助金等の情報提供！

* 横浜市 WEB サイトで企業名を公表！

*「ステッカー」を差し上げます！

* 省エネ診断の受診費用を補助！

* 横浜市総合評価落札方式での加点！

取組事例

「脱炭素化」は、身近な
「省エネ活動」から始まります。

- ✓ こまめな消灯、スイッチ OFF などの身近な省エネ
- ✓ 空調設定温度の適正化、空調機器のフィルター掃除など
- ✓ LED など高効率照明設備への切替
- ✓ 専門家による省エネ最適化診断の受診、CO₂ 排出量の把握（見える化）

など ...



脱炭素取組宣言
ロゴマーク

協力団体

横浜商工会議所、横浜市商店街総連合会、横浜市工業会連合会、横浜銀行、横浜信用金庫、神奈川銀行、
横浜市信用保証協会、横浜企業経営支援財団（IDEC 横浜）、横浜市技能職団体連絡協議会、かながわ信用金庫、
横浜市シルバー人材センター など

お問合せ先：横浜市経済局中小企業振興課 TEL：045-671-4236 MAIL：ke-sengen@city.yokohama.lg.jp